

# ハイテムが性能アップした新「トンネル換気システム」Pプラス開発

(株)ハイテム(安田勝彦  
社長・本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2-10)は、夏期は鶏舎前面から入気し、冬期は前面を遮断して、鶏舎長手方向3ゾーンに分割したインレットから入気する夏冬切り換え換気を、新トンネル換気としてハイテム直立ケージの標準換気方式としてきた。

これまでのトンネル換気では、冬期は新鮮な空気がゆっくり流れれて鶏舎後部裏面に排気され、鶏舎内に温度差が出やすいことを利用することで、この問題の改善を図ることを目的にハイテム新トンネル換気では、

3ゾーンのインレットが対応するセンサーの信号によって個別に開閉するシステムを取り入れた。ただ、入気スピードを

『Pプラス』によって性能アップした新トンネル換気3ゾーンコントロールは『Pプラス』コントロールでより均一な温度維持を図ることができるため、冬期の舎内

題を解決。

『Pプラス』によって新鮮な空気をより均一に舎内に導入し、3ゾーン

の商標名で販売を開始す

る。

## 冬期3ゾーンコントロール に静圧制御をシステム化

コントロールする静圧制御を織り込むことができた。実証や改良を含めて、冬期は舎内なかつたため、ハイテム約1年半の期間をかけて開発したもの(特許番号:6008225506)。従来の問題を解決するため、いったん静圧によって3ゾーンのインレットの開度を設定し、その3ゾーンコントロールによって各ゾーンの温度センサで開度を調整するプロセスを開発してこの問題も同時発売する。

『Pプラス』は農場で温度を高めに維持できる

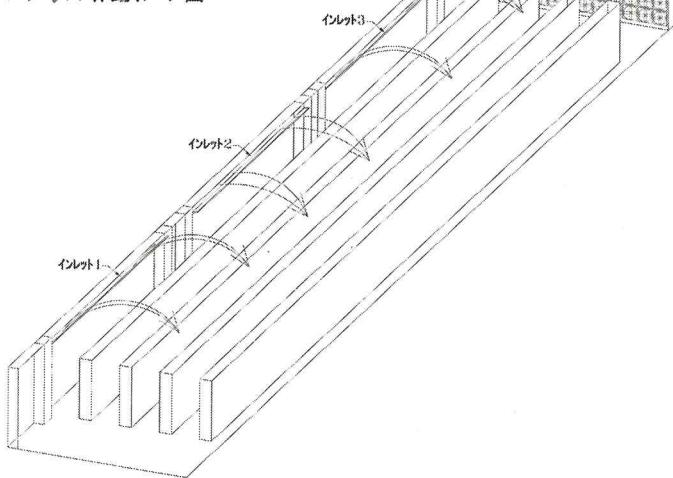
『Pプラス』で10~3

益増は、羽当たり年間23

円になる(羽当たり摂取

量105g/日、飼料40

益(同社資料参照)の最



静圧制御によって入気スピードを制御。これに3ゾーンインレットがシステム的に作動し、すがすがしく、かつ均一な舎内温度を実現する

ハイテムでは、今後と大化を目指し、同社設備の改善・向上に磨きをかが生む、『養鶏第2の力』の努力を続けていきた